

豊島明子先生

先生のプロフィール

【出身地】

岐阜県岐阜市

【専攻】

行政法。特に、社会保障行政領域の研究。

【近年(2~3年)の担当科目】

行政救済法（基礎）、行政法各論、ミドル演習、アドバンスト演習、公法特修演習Ⅲ



【今の専門科目に興味をもったきっかけを教えてください。】

私は、「社会で弱い立場にある人々の力になりたい、そのために法を学ぼう」と思い、法学部を選びました。それで、学部3・4年生の時に憲法のゼミに所属し、判例を通して人権保障の現状を学びました。また、その当時、私が法学部で履修していた「行政法」の講義で、行政法が人権や民主主義といった憲法的価値を具体的に実現する法分野であることを、知りました。この講義を聴いて、行政法と憲法の関係の深さを知ったのがきっかけです。

【ゼミを実施するにあたって心掛けていることは何ですか。】

私のゼミは、グループで学び合うプロセスを重視しています。毎週のゼミは、テーマを1つ設定して、当該テーマを割り当てられたグループが発表し、その後、ゼミ全員で議論する方法で進めています。グループ発表では、グループが事前に調べてきた内容と、当該テーマについてグループ全員で事前に考えた内容を、述べてもらうようにしています。グループ発表のパフォーマンスが上手くいく場合もありますが、時には、グループ内の連携が不十分で消化不良に終わる場合もあります。そのようなプロセスも含め、すべてが勉強だと思えます。

【学生時代に熱中していたこと、力を入れていたことは何ですか。】

私は、サークル活動に夢中でした。このサークルは、私が学部1年生の時に、同じ大学の同級生の友人や先輩たちと交流していくうちに意気投合し、旗揚げした劇団です。この劇団の仲間とは、朝から晩まで、年がら年じゅう、本当に長い時間を一緒に過ごしました。

【学生の皆さんに一言お願いします。】

色々な経験をして、自分の世界を広げてください。人との出会いもその一歩だと思えます。